

## 市民目線で 市民要求を実現

教員生活  
35年

ほそみ 昭文

# 細見あきふみ

丹波市政対策委員長

生活相談担当地域：氷上・青垣・山南

### 細見あきふみの これまで

#### 小谷に生まれ

県職員の父、農業を営む母のもと三兄弟の長男として、1948年(昭和23年)1月に小谷に生まれました。当時は私の家族を含めて、田舎全体が田植えや稲刈りなど一家そろってやっていた、活気がありました。



氷上西高校時代

#### 35年の教員生活

大学卒業後、2年間民間企業で働き、その後高等学校教員として篠山産業高等学校、氷上西高校など35年間勤めました。この間、労働運動(高等学校教職員組合)にも参加、高教組丹有支部長など歴任し奮闘しました。イギリスのサッカー首脳は「私の先生は、教育とは学校で習い覚えたことをみんな忘れてしまっても、そのあとに残っているもの、と言いました」という名言を残しています。人との触れ合い

#### 退職後も 地域・社会のために

の大切さを述べていると思います。教員退職後は、農業をしながら、地元小谷自治会長4年、小谷地区「農地・水・保全管理活動の会」の代表を11年、丹波市農業委員会委員2期6年、丹波市国民健康保険運営協議会委員を3年務めました。また、丹波市9条の会や丹波年金者組合の活動にも参加し、人との触れ合いを大切にしたい。市民の暮らしと健康を守るために日々頑張っています。

### ● 私のこれまでの主な活動 ●

- 2001年の氷上西高校の統廃合問題では、署名活動に奮闘し、氷上西高校を魅力ある学校として存続させることができました。
- 東芦田新水源のマンガンを含む水道水の問題に取り組み、2016年に通常は使用しないこと、「非常時において使用する場合、丹波市公営企業管理者、青垣地域自治振興連合会と幸世自治振興会の3者において協議する」という確認書が交わされました。
- 2023年の燃やすゴミ袋の半額化を求める「請願署名」に取り組み、三度目の議会提案で多数の議員が賛成し、燃やすゴミ袋半額化が可決されました。

プロフィール | 1948(昭和23)年1月生まれの76歳。県立柏原高校卒業、国立神戸大学理学部数学科卒業。沖電気を退職し、県立洲本高校を振り出しに北須磨・篠山産業・多可・氷上西など高校教師として35年勤務。この間、兵高教組丹有支部長を歴任。退職後、2007年から小谷自治会長を4年務め、小谷地区農地・水・保全管理活動の会代表を11年。2011年7月から丹波市農業委員を2期6年。丹波市国民健康保険運営協議会委員を1期3年。現在、丹波市9条の会会員、年金者組合丹波支部副支部長、日本共産党丹波地区委員・市政対策委員長として活動。趣味は、読書と自然に親しむこと。家族は妻。

私は、学生時代に残酷なベトナム戦争の悲惨さを知り、なぜ人間同士が殺しあうのか悩みました。日本がおこした東アジアへの侵略と植民地支配の戦争により、多くの犠牲者を出しました。その反省のもとに、日本国憲法ができました。その中で憲法9条は、戦争放棄・国の交戦権を認めず「戦力不保持」を掲げており、世界平和の道筋がはっきり示されていることを確信しました。これが私の原点です。

私は退職してからも丹波市9条の会の会員として、街頭宣伝で憲法9条を守り、外交でとことん話し合い、戦争を避けることが必要だと訴えています。

政府の仕事は、「戦争をしないこと」と「国民を餓えさせないこと」だとある人はいいましたが、まさに名言です。それを実現するための「7つの基本政策」に全力をあげて頑張る決意です。市民の皆様の声をよく聴き、力いっぱい頑張ります。

# みなさんの声をまっすぐに届け、直ちに取り組む **7つの基本政策**

## 1 若者が輝き、子どもが元気に育つ丹波市に！



- 小中学校給食の無償化をすすめます。また、米飯給食は、丹波産有機米100%使用をめざします。
- 0歳～2歳の保育料の無料化をすすめます。
- 地域の声を無視した小学校統廃合と小中一貫校の押しつけに反対します。
- 若者の「スケートパーク」をつくります。

## 2 医療と介護、福祉の充実を！

- 国民健康保険税の引き下げ、子ども(18歳以下)の「均等割」を廃止します。
- 「地域支援事業」「保険福祉事業」の充実。介護保険料の引き下げと利用料の軽減をすすめます。



## 3 市民負担を減らし、公共交通の充実を！



- デマンド・タクシーの「県立丹波医療センター」までの「直行便」開設をめざします。
- 路線バス運賃を上限300円と、増便や路線の拡大を図ります。
- 上下水道料金の引き下げをめざします。

## 4 農林・商工業などの産業振興と雇用を守り、地域経済を元気に！



- 深刻な農業後継者対策の充実・強化に早急に取り組めます。
- 「オーガニックビレッジ宣言」を生かし、環境に優しい有機農業の推進と支援強化を図ります。
- 旧柏原支所や柏原日赤跡地の活用計画を市民参加で作し、地域の活性化を図ります。

## 5 防災対策の強化と住環境を守り、脱原発のとりくみを！



- 加古川・竹田川等の樹木伐採や浚渫など河川管理の強化と内水対策の充実に取り組めます。引き続き黒井川の改修促進も兵庫県に要請します。
- 高浜原発再稼働に反対し、再生可能エネルギーの推進をします。

## 6 支所機能の充実強化をはかり、住民自治の力を活かすまちづくりを！



- 支所に「まちづくり専門員」(元職員等)を配置し、住民自治の力を活かし、地域の実態に合ったまちづくりを推進します。
- 統合新庁舎の建設でなく当面、分庁舎方式の維持とオンライン化等支所機能の充実を図ります。
- 自治会が自由に活用できる補助金制度をつくります。

## 7 憲法9条を守り、平和と民主主義、人権を守る丹波市に！



- 憲法9条を守り「非核平和都市宣言」を活かした平和都市丹波市をめざす取り組みをすすめます。
- 誰もが自分らしく生きられる“ジェンダー平等社会”をめざす丹波市にしていけます。



**財源はあります！**

2023年(令和5年)度決算で、約16億円の黒字決算(実質収支)や約48.8億円の財政調整基金や地域振興基金(約48.8億円)など財源はあります。